

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁 聖書講座「今キリストを証しする」 渡辺幹夫師

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601

萩・山口の殉教者
— 信仰の光を
与え続ける共同体 —

「メルキオール熊谷豊前守元直」
「盲目の伝道士ダミアン」

山口は、ザベリオゆかりの地である。半盲の琵琶法師ロレンソの宣教もあり山口には素晴らしい教会が誕生した。それから半世紀、2人の偉大な殉教者が生まれた。熊谷元直は、備前高松の城主で

山口は、ザベリオゆかりの地である。半盲の琵琶法師ロレンソの宣教もあり山口には素晴らしい教会が誕生した。それから半世紀、2人の偉大な殉教者が生まれた。熊谷元直は、備前高松の城主で

一時搖らぎかけた信仰は、大坂の淀川普請工事に、大坂に出向いた際、大坂・京都の教会、キリスト大名達に出会い、信仰の弁護者となつた。山口に移った毛利輝元は、キリスト弾圧を始めたが、元直は窮地に立つ信徒達の保護者となつた。1605年切腹を拒んだ彼はロザリオと繩を手にしながら

ら死の時を待つた。彼は「イエスの受難を默想する人」だった。
元直の死後山口教会のもう一つの支柱、全盲の琵琶法師ダミアンが殉教した。25歳だった。全盲の彼が牧者のいない群れの牧者となり教会を照らす光となつたのだ。
松明をともして刑場に運行する彼は役人に「私には夜道などはない。刑場の道が鮮やかに見える」と言った。
全盲の彼は光を見ていたのだ。
(村上透磨)



萩にあるメルキオール熊谷の記念碑(山口県萩市)

8
2008

188殉教者紹介

17

山口の殉教者たち

ザビエルが育てた山口の教会は、1605年、2人の秀れた殉教者を出した。マルキオール・熊谷豊前守元直は名高い熊谷直実の孫で、毛利輝元の最有力家臣の人であった。ダミアンは堺に生まれ、目の光を失つて貧しく、路上で琵琶を弾きながら旅をし、山口に着くと、そこに住み着いた。元直は、1586年、豊臣秀吉の九州征伐の時、黒田孝高の勧めで信者になった。最初は信仰について深い知識がなく、あまり熱心ではなかつたといわれる。1600年、毛利輝元とともに山口へ行つた。元直は、圧迫されている教会の状況の中で新たに信仰の道を見いだし、教会に対する自らの責任を感じたと思われる。以来、元直は信者の保護者となつた。彼は自分の知行に小さな教会を建て、毛利輝元に相対し公然と信者として行動した。

ダミアンも山口でキリストに出会い、洗礼を受けた。後に結婚し、貧しいながら次第に牧者なき教会の信者の伝道士となつた。ザビエルによつて洗礼を受けた有名なロレンソのように目が不自由であつても、心は神によつて輝いていた。熊谷元直もダミアンも自分の教会のためにすべてを捧げた。

熊谷元直は、1604年、萩城の落成のとき、毛利輝元に従つて萩に移つたが、ダミアンは山口に留まつた。教会の崩壊を望んでいた輝元は、この2人の指導者がいるかぎり、自らの目的を果たせないことを知り、口実をもうけて2人の処刑を決めた。元直は、1605年8月16日の夜明けごろ、萩の屋敷で、ダミアンは、同月19日深夜に山口の一本松の刑場で斬首され殉教者となつた。手に縄を受けた元直は屋敷を包囲していた役人にむかい、自分を輝元の前に引き出すよう願つた。宣教師たちの記録によれば、「この武士はよくイエスの御受難を默想する人であつた」。

ダミアンは、19日の夜、毛利の役人から所用のため湯田まで同行するよう言われて道に出た。しかし途中で馬を止め、これは湯田ではなく処刑場への道であると言ひ、驚く役人にむかい、盲目の自分がとつて道は夜でも明るいひなたであると述べた。ダミアンは馬から下りるとひざまずき、祈りながら殺されるのを待つた。視力を失つたダミアンの道は、確かに光の道であつた。

萩の教会の墓地にはビリオン神父が建てた熊谷の碑がある。ダミアンの首は、それを見つけた信者たちの手で長崎に送られ、1614年、宣教師たちによつてマカオに移された。

萩の教会の墓地にはビリオン神父が建てた熊谷の碑がある。ダミアンの首は、それを見つけた信者たちの手で長崎に送られ、1614年、宣教師たちによつてマカオに移された。

キリストん関係行事

8月

○3日(日) 平和の祈りの集い

場所 聖フランシスコ・ザビエル下関上陸記念碑
(山口県下関市)

○14日(木) ○14日(木) 根獅子殉教祭

○13日(土) 「殉教」バネルディスカッショント

場所 河原町教会

主催 京都キリストン研究会

○24日(日) ○24日(日) 周防・長門殉教者記念ミサ

場所 山口ザビエル記念聖堂(山口県山口市)

主催 萩教会

○27日(土) ○27日(土) 場所 京都市平新旅館(予定)

主催 紀念公園(山口県萩市)

○16日(土) ○16日(土) 祈りの集い

場所 萩キリストン殉教者記念公園(山口県萩市)

主催 紐差教会

○17日(日) ○17日(日) 場所 南蛮寺跡ミサ

主催 山口教会

○24日(日) ○24日(日) 場所 京都市平新旅館(予定)

主催 京都キリストン研究会

○27日(土) ○27日(土) 場所 京都の大殉教巡礼会

主催 京都司教区

○27日(土) ○27日(土) 場所 河原町教会集合

主催 京都司教区

ダミアンは、19日の夜、毛利の役人から所用のため湯田まで同行するよう言われて道に出た。しかし途中で馬を止め、これは湯田ではなく処刑場への道であると言ひ、驚く役人にむかい、盲目の自分がとつて道は夜でも明るいひなたであると述べた。ダミアンは馬から下りるとひざまずき、祈りながら殺されるのを待つた。視力を失つたダミアンの道は、確かに光の道であつた。

ダミアンは、19日の夜、毛利の役人から所用のため湯田まで同行するよう言われて道に出た。しかし途中で馬を止め、これは湯田ではなく処刑場への道であると言ひ、驚く役人にむかい、盲目の自分がとつて道は夜でも明るいひなたであると述べた。ダミアンは馬から下りるとひざまずき、祈りながら殺されるのを待つた。視力を失つたダミアンの道は、確かに光の道であつた。

秘跡

聖書講座シリーズ「今、キリストを証しする」6／4・5



渡辺幹夫神父（カルメル修道会）

イエス様が
どういうとき
に秘跡につい
ておっしゃっ
たかを見ると、

それは遺言のようにお別れのとき

なのです。最後の晩餐のときに、

「これを取って食べなさい。わた

しの記念としてこれをおこないな

さい」と言われ、御昇天により弟

子たちから離れていくときに、「父

と子と聖霊の名によくて洗礼を授

けなさい」と言われたのです。

わたしは、ここに聖書の教えるの

大きな特徴があると思います。イ

エスが残されたものは、抽象的な

考え方とか思想とか言うものである

よりは、「イエスを記念する」秘

跡であったのです。

イエス様は、「彼らに父と子と

聖霊の名によって洗礼を授け」と

言われていますが、これを原文で

読みますと、「名によつて」と言

うより「名に入れる」と訳したほ

うがいいのです。名前とはその方

の力、働きです。それで名に入れ

るとは、その方のダイナミズムの中に入れる、つまり、救いの計画、天地創造から始められ、最終的に究極の完成に向けて働き続けていたかを見ると、

万物の創造は、愛によつて神様だけが発意し、始めてくださった

ものです。そして、それは、もつ

と大きな完成の第一歩でした。そ

して、神は、この完成に向けての

歩みに、人間が、無償で始められ

た愛の業を認め、賛美と感謝のう

ちに、歩みを共にすることを望ま

れました。しかし、人間は、この

神の計画を罪でもつて頓挫させる、

間違った方向にもつていくことに

なつてしまつたのです。そのとき

も、神は、人間を見捨てるところなく、

御独り子を、わたしたちと同じ身

体、肉のうちに送られました。イ

エスは、人間の罪がもたらした究

極の結果、苦しみと死を全部引き

受けました。イエス様は、十字架

の上で、人間の罪の極地である死

を、他者のために生きる愛の最高

のしるしに変えられた。死、そのままになるのです。ここに、「聖変化」、パンとぶどう酒がキリストの体と血に変えられる、この変化の原点があるのですが。このイエスの十字架の死と復活、過ぎ越し、人間の罪を贖い、もう一度、人間を入れる、と言うことです。

万物の創造は、愛によつて神様

だけが発意し、始めてくださった

ものです。そして、それは、もつ

と大きな完成の第一歩でした。そ

して、神は、この完成に向けての

歩みに、人間が、無償で始められ

た愛の業を認め、賛美と感謝のう

ちに、歩みを共にすることを望ま

れました。しかし、人間は、この

神の計画を罪でもつて頓挫させる、

間違った方向にもつしていくことに

なつてしまつたのです。そのとき

も、神は、人間を見捨てるところなく、

御独り子を、わたしたちと同じ身

体、肉のうちに送られました。イ

エスは、人間の罪がもたらした究

極の結果、苦しみと死を全部引き

受けました。イエス様は、十字架

の上で、人間の罪の極地である死

を、他者のために生きる愛の最高

ト・イエスの体を具体的に軸にしています。受肉、十字架の死、復活、すべては、キリストの体、肉を舞台に展開されています。弟子たちは、復活者イエスの栄光に輝く体を見、また触れて、イエスを裏切り、逃亡した自分たちの罪が購われ、赦されていることを知つてゆきました。つまり、神の「秘められた計画」ミステリオンを知つていつたのは、キリストの体を通じてでした。

わたしたちがこの秘跡を聖書に参与させていただき、「神の子」としてくださったのです。天地の創造、人間の墮罪、御独り子の受肉と十字架の死による贖い、そして、造、人間の墮罪、御独り子の受肉と十字架の死による贖い、そして、復活した体に生きるキリスト・イエスに連なる万物と人間の神の榮光の中での完成。聖書が、わたしに示す神の愛の救いの計画は、

たゞに示す神の愛の救いの計画は、

このように展開しています。

聖パウロは、このような展開を

ギリシャ語で「秘められた計画」

ミステリオンと言っています。「秘められた計画」をわたしたちに知らせてくださいました。：時が満ち

スティリオンの中に、今日生きさせ

ていただいている、わたしが一人

ではなく、すべての人と共に、

そして、すべての造られたものと

共に。「天にあるものも地にある

ものもキリストのもとに一つにま

とめられる」（エフェソ1章10節）、

この「ミステリオン」は、キリストの下に一つにまとまります



福音セントニース



去る5月24日、「京都の大殉教」列福記念事業の一環として、イエズス会司祭、川村信三師による講演会が開催されました。講演ではキリストianたちが迫害時代をもちこたえた理由がいくつか紹介され、現代の教会への示唆として参加者は熱心に耳をかたむけました。そのときの感想文を以下にご紹介します。

篠田 克巳

殉教に関する書籍や講演会は色々あるが、その当時の共同体についてのお話をうかがう機会は私には無かったので興味深く聴かせていただいた。

川村神父様が長年追い求めた殉教者たちおよび彼らを育んだ共同体の真の姿が、「秘跡」に集中する共同体であったとお伺いして、もっと泥臭い、人間味のあるお話を期待していた私にとってはある意味肩すかしを食らったような感じでした。しかし、もう一度じっくりかみしめるに従い、「いかなる状況にあろうとも神に信頼しきる」ことの大切さを改めて痛感した次第です。

京都教区が2001年から推進している共同宣教司牧を、殉教者およびその共同体が当時の社会に対して与えた痛烈なメッセージを通して「現代の殉教」という観点から見直した時、「日常からミサを生きる」と共通する忘れてはならない礎となるミッションを再認識させられた良い機会であった。

塙本 次郎

イエズス会司祭・上智大文学部准教授川村信三師による「京都の大殉教」列福記念講演を聴かせていただいた。私は、多くのお話の中、日本人殉教者たちから、生命をかけて絶望しないで「信じぬく」ということを学びたいと思います。

キリストianは司祭不在の間、ご聖体とゆるしの秘跡を受ける為に250年待ちました。真宗門徒組織が日本人特有のあり方の参考になって日本版「こんふらりあ」が持ちこたえることができたのではとのことです。大塚司教は、私たちが直面している新しいタイプの迫害として、この世俗の時代の「精神の迫害」をあげておられます。それは外部からよりも信者の内側からの迫害があると言われています。キリストに12人の弟子がついて行ったように、また、当時の宣教師にキリストianがついて行ったように、素直に神を信じてついて行く態度が現代信者の我々に不足気味なのではないかと思われます。再度、私も習って行きたく思いました。

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 京都カトリック福音センター

Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp

●基調講演
「京都のキリストianと看坊」
五野井 隆史氏
(聖トマス大学教授、東京大学名誉教授)

●パネリスト
レンゾ・デ・ルカ師
(イエズス会司祭、日本26聖人記念館館長)
廣瀬 敦子氏
(キリストian史研究家)
Sr.小川 美子
(ヌヴェール愛徳修道会、
京都北部地区宮津ブロック共同宣教司牧協力者)

パネルディスカッショニ

コーディネーター
大塚喜直司教

時代を生きた 司牧まで 祭・信徒たち

■ 日 時 2008年9月13日(土) 1:30~4:30

■ 場 所 河原町教会聖堂

■ 主催 京都司教区「京都の大殉教」列福記念事業特別委員会 ■ 参加費 無料

問い合わせ先：京都カトリック福音センター
〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上ル
Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090
E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp

柳本昭神父



所属京都教区
生年1955
叙階1987

私は神学校に入るまで生まれも育ちも京都でまったく海とは無縁でした。そんな私が海の近くの南勢ブロックで働いています。ときどき松阪近くの漁村の錢湯に入りに行くのですが、車で堤防を走り漁港を眺めたあと、漁師のおじさ

「ここはどこ? 私は誰?」とさえ思ってしまいます。

松阪、伊勢と尾鷲、福祉施設が自然に癒されています。温泉も錢湯もありますしね。

また、外国语ができないにもかかわらず国際協力委員会も担当しています。外国语ミサや種々の集まりに行くとまたまた「ここはどこ?」状態ですが、三重県ならではの貴重な体験をさせていただいている。



ガロ神父

所属フィリピン宣教会
生年1958
叙階1992

ここにちは神父さん

私はフィリピンから宣教師として日本に来て、2年間日本語の勉強をし、その後京都教区の湖西ブロック担当司祭として任命されました。私は京都教区の新しい福音宣教によって、共同体がより福音化され、すべての信徒が宣教者

として他の人々にみ言葉を証し、福音を述べ伝えることが出来ると思っています。これまで宣教師として日本の文化、社会的な習慣、礼拝などを尊重し、学んで、分かち合いをしたのです。その結果、内的平和を保ち、周りの人々に交わされたのだと思います。今後も、私たちは湖西ブロックのキリスト教教会共同体として永遠の国に生きることができますように、愛である神の文化、み言葉、礼拝などを更に学び合い、分かち合いを続けていきたいのです。

んたちとお湯に浸かっていると、

「ここはどこ? 私は誰?」とさえ思ってしまいます。

松阪、伊勢と尾鷲、福祉施設が自然に癒されています。温泉も

良書紹介

『ルカ福音書を読む』

同伴者イエス

聖書講座シリーズ6
京都司教区聖書委員会編

京都教区聖書委員会は1986年から数えて今年で25回目を迎える。

初期には聖書に親しむことを目的とした講座が企画されたが、1992年あたりから、世界的な動き、教区の宣教司牧の動きをバックアップ出来るようなものを選んできた。

しかし2003年から5年間は、宣教共同体、典礼、みことばという観点から、4福音書と使徒言行録を講座シリーズとしていた。

今回出版された『ルカ福音書を読む』は、昨年の『マルコ福音書を読む』に統いて、福音書シリーズの第2巻である。

ルカはテオフィロ(神を愛する)にあててこの福音書を書いているが、講師も聴講者も読者もテオフィロ達の書であると序文は書いている。

良く知られているように、ルカはガリラヤから始まつたイエス・キリストの旅はエルサレムへ、そして天への帰還で終わっている。

「復活・昇天・
新しい共同体の誕生」
鈴木信一師(パウロ会)

「……わたしたちキリスト者は、キリストの道を歩む者、キリストの道に同伴する者であり、この講座のテーマを『ルカ福音書を読む』



6

(村上透磨)

とし、2004年あたかも典礼画された」とある。またキリストと歩みを共にするためには、ルカ福音書の構造に基づいて、読むこととしたともある。しか

し選ばれた6講座は、ルカ福音書の前半部分に集中してしまった。それで、前半部を補うため、「荒れ野の試み」と「ナザレの説教」を序文に加え、イエスの旅を補っている。なお収録された6講座は次の通り。

「イエスと共にすること」「目覚めて祈る」「鳥巢義文師(神言会)」「旅空のイエス」「北村善朗師(京都教区)」「神の憐れみと富」「中川博道師(カルメル会)」「最後の日(過越しの日)」「ノートルダム教育修道女会」「ノートルダム・ド・ヴィー伊従信子」「復活・昇天・新しい共同体の誕生」
Sr小久保喜以子
伊従信子
鈴木信一師(パウロ会)

お
知
ら
せ

青年センターから

▼教区中学生広島巡礼 5日(火)
 ～7日(木)▼教区高校生夏合宿
 19日(火)～21日(木)メリノーハウス▼聖書の集い 23日(土)
 ▼運営委員会(京都北部地区) 30日(土)

◆聖書委員会▼よく分かる聖書の学び、聖書講座シリーズは8月はお休みです。

◆教区委員会から

◆聖ドミニコ女子修道会▼ロザリオを共に祈る会 8月はお休みです。9月19日(金)10時半～みことばを聴こう 9月6日(土)9時半 講師 鶴山進栄師 対象 青年男女▼問合せ 075(231)2017

◆カトリック奈良地区協議会▼聖書講座は8月はお休みです。

◆京都南部東ブロック▼河原町教キヤンブ情報

会鍊成会 7日(木)～9日(土)吉山の家▼高野教会日曜学校夏季合宿 20日(水)～21日(木)ク合同キャンプ 12日(火)～14日(木)YMCAリトリートセンター
 ◆京都南部南ブロックA▼ブロック夏期教会学校 1日(金)～2日(土)YMCアリトリートセンター
 ◆奈良地区▼中高生合同キャンプ 16日(土)御所教会
 ◆三重北勢ブロック▼夏の鍊成会 7月31日(木)～8月2日(土)鈴鹿峠自然の家
 ◆JOC▼働いている青年の集い。京都働く人の家(九条教会前)連絡先 090(8207)1831
 ◆カトリック聴覚障害者の会 京都グループ▼8月はお休みです。
 ◆河原町教会聖歌隊▼典礼聖歌研修会より美しく豊かな典礼を目指して 9月15日(月)10時 河原町教会ヴィリオンホール 講師 新垣千敏氏 内容 歌って学ぶ信仰 ベトロ岐部と187殉教者贊仰 歌他 会費1,000円、主催 CYC コーラス 問合せ 075(501)5173 時間変更

◆京都力トリック混声合唱団▼練習日 3日(日) 14時、23日(土)19時
 ◆京都力ナの会▼例会、結婚相談室はお休みです。
 ◆京都キリストン研究会▼南蟹寺跡ミサ・巡礼 24日(日) 14時 平新旅館▼京都の大殉教巡礼会は8月はありません。
 ◆コーエーチェレステ▼練習日毎月第2、第4、第5木曜日 河原町会館6階
 ◆在世フランシスコ会京都兄弟会 8月はお休みです。
 ◆聖ヴィンセンティオ・ア・パウロ会▼河原町協議会 10日(日) 河原町教会
 ◆心のともしひ 8月番組案内
 ◆二金会▼8月はお休みです。
 ◆糠みその会▼例会 28日(木)19時半 九条教会ホール
 ◆テレビ(衛星・ケーブル放送)
 スカイAスポーツプラス
 毎週土曜日朝8時45分より
 渡辺和子によるシリーズ「キリストの香り」2日と9日「真の優しさ」。16日と23日「自分を愛すること」。30日(但し、30日はタイトル未定。7時30分から)

勤務時間 9時～17時 勤務曜日 月曜日～金曜日 (時間・曜日は相談に応じます)	時給 800円 交通費 実費支給 (上限1,500円)	希望の家 スタッフ募集 いっしょに働くスタッフを募集しています。
業務内容 高齢者訪問、配食、生活相談、生活支援 福祉関係の資格は必要ありませんが、運転ができるパソコンが使える方を求めてています。	ま	*8月のテーマ「目標」。 月～土 朝5時15分より5分間。 問合せ 075(211)9341 累計 52、519、257円 ◆「一万匹の蟻運動」基金報告 (6月16日現在)

大塚司教の

8月のスケジュール

- 4日(月) 比叡山平和の祈り 15時
 5日(火)～7日(木) 教区中学 生広島平和巡礼
 8日(金)～9日(土) 教区カトリック学校教職員修養会
 10日(日) 教区一斉平和祈願ミサ
 東ブロック平和ミサ 平和行進
 14日(木)～26日(火) イギリス、アイルランド マリス ト会訪問
 30日(土) 教会学校研修会
 31日(日) 奈良教会英語ミサ 15時

司祭の異動(8月1日付)

- 村上透磨師(旧任命三重地区北勢ブロック担当司祭)
 南勢カトリックケアハウス
 ペドロ・バルカザル師(サレジオ修道会)
 三重地区北勢ブロック担当司祭

地区ブロックの平和旬間行事

- ◆京都南部北ブロック▼合同ミサ／講演／見学会 31日(日) 10時 場所 ミサと講演 西陣教会 講師 西野猛生師 見学 京エコロジーセンター

- ◆京都南部地区西ブロック▼西山地区『平和を作り出すキリストの集い』 3日(日) 14時 場所 日本キリスト教団向日町教会 講師 高里鈴代氏(沖縄REICO代表)

◆京都南部地区東ブロック▼平和祈願ミサ／平和行進

- 10日(日) 15時15分 平和祈願ミサ、16時45分 平和行進(河原町教会～円山公園)

◆奈良地区▼講演会／ミサ

- 『ヒロシマからの預言』 3日(日) 13時 場所 奈良教会 講師 西尾禎郎氏(瑞浪教会信徒)
 ◆津教会▼映画「日本国憲法」～世界から見たわたしたちの憲法～ 10日(日) 教区一斉平和祈願ミサ 後その後希望する各信徒宅へDVDを貸出し、憲法を学ぶ。

YES2008～ペトロ岐部187殉教者列福式にむけて～

奈良教会 石原茉奈

暑い日が続きますがみなさまいかがお過ごしでしょうか。

今回は「YES」という青年の集いについて紹介したいと思います。

「YES」は「Youth(若者)」、「Exchange(交流)」「Enjoy(楽しむ)」、「Encounter(出会い)」…、「Space(場所)」の頭文字をとつて名付けられた青年センター主催の行事です。青年たちが出会い、交流し、つながりを深めていく事ができるようという思いから、今年で7回目を迎えます。毎年、十人十色という言葉がぴったりな青年たちが集まり、分かち合いをしたり、近況や悩みを語り合ったり、楽しく貴重な時間を過ごしています。

今年の「YES2008」は、10月4～5日の日程で、「証し灯：自分に与えられたものを主に返す」をテーマに、野外礼拝センターにて開催する事になりました。

このテーマは11月に長崎で行われるペトロ岐部187殉教者

に協賛したものです。全国の青年たちがひとつロウソクを通して心をつないでいく事を目的としています。京都教区は大分

宮崎地区からロウソクを引き継ぎ、一番最初に出発した長崎教区へ手渡します。ミサの他にも、殉教にちなんだ分かち合いや交流企画など、盛りだくさんな2日間になる予定です。

また、大塚司教様が司教するロウソクリーミサは、青年に限らず一般の方も参加しています。信徒のみなさまも、私たちと一緒に列福式に向けてだけます。信徒のみなさまも、お祈りしませんか？

今年の「YES2008」も青年たちのよい機会となるよう、おいのりをお願いいたしました

10月4日(土) 17:00～
 カトリック野外礼拝センター

今年の「YES2008」も青年たちのよい機会となるよう、おいのりをお願いいたしました

この企画「ロウソクリーミサ」

【青年センターホームページ】
<http://www.kyoto.catholic.jp/>